

様式1-1

本管自走式テレビカメラ調査工 調査結果一覧表(1)

[illegible]

様式1-2

本管自走式テレビカメラ調査工 調査結果一覧表(2)

[illegible]

様式1－3

本管自走式テレビカメラ調査工 調査記録表

上 流 人 孔 番 号																		下 流 人 孔 番 号																		
図面番号		人孔番号		人孔種別	人 孔 深	管 頂 深		人孔蓋種別				管種	管径		人孔間延長				図面番号		人孔番号		人孔種別	人 孔 深	管 頂 深		人孔蓋種別									
					m	m							mm		m									m	m											
人 孔 内 点 検																																		人 孔 内 点 検		
継手部	継 手 数	管口																																		管 本 数 [本]
	写 真 番 号																																			取 付 管 数 [箇所]
	内 容																																			管 不 良 数 [本] VTR 番 号 [巻] カウンタ番号 [] 布 設 年 度 [年]
本管部	管 本 数																																			占用位置 1. 国道 2. 県道 3. 市道 4. 町道 5. その他
	写 真 番 号																																			
	内 容																																			
取付管部	取 付 番 号																																			該当番号 番
	写 真 番 号																																			
	内 容																																			
考 察																																				

異常内容			管の腐食			上下方向 のたるみ			管の破損			管のクラック			管の継手ズレ			浸入水			取付管 の突出し			油脂の付着			樹木根侵入			モルタル付着			その他			計						備考
			A	B	C	A	B	C	a	b	c	a	b	c	a	b	c	a	b	c	a	b	c	a	b	c	a	b	c		A	B	C	a	b	c						
異常箇所																																										
継手部																																										
本管部																																										
取付部																																										
人孔部																																										
計																																										

注1 考察欄には、管路施設の損傷状況に加え、道路交通概況、生活環境概要、近接工事、損傷原因、損傷の進行性、損傷の新旧等について記述すること。

注2 計()内の数値は、スパン全体で評価する「管の腐食」、「上下方向のたるみ」、清掃等で除去可能な「樹木侵入」及び「取付管の突出し」を除いたものである。

様式1-4

本管自走式テレビカメラ調査工 異常箇所一覧表

[illegible]

様式1-5

マンホール本体の調査結果一覧表

[illegible]

様式1-6

マンホール本体の調査記録表

幹線名等			マンホール 種別	号/寸法	道路管理者	国道/県道/市道/私道
図面番号					占用位置	車道/歩道/その他
マンホール番号						
酸素濃度	%	硫化水素濃度	ppm	調査日		

部位	異常項目	調査結果						状況説明	備考
		Aランク	結果	Bランク	結果	Cランク	結果		
マンホール本体	調整部	調整部状況	調整モルタル及びリングが破損・欠落		調整モルタル及びリングのずれ・クラック		調整モルタル及びリングのずれ		
	斜壁	腐食	鉄筋露出		骨材露出		表面の荒れ		
		破損	欠落・陥没		全体に亀裂		軽微な破損(A・B以外)		
		クラック	全体がクラック(人孔全周、幅5mm以上)		部分的にクラック(人孔半周、幅2～5mm以上)		軽微なクラック(幅2mm未満)		
		隙間・ズレ	全体が脱却		一部が脱却		わずかの隙間・ズレ		
		浸入水	噴き出ている状態		流れている状態		にじんでいる状態		
		木根侵入	内径の50%以上		内径の10～50%以上		内径の10%未満		
	直壁 (管口部含む)	腐食	鉄筋露出(表面pH:1程度)		骨材露出(表面pH:3未満)		表面の荒れ(表面pH:3以上5以下)		内面表面pH ※1 (下流管口)
		破損	欠落(陥没)		全体に亀裂		軽微な破損(A・B以外)		
		クラック	全体がクラック(人孔全周、幅5mm以上)		部分的にクラック(人孔半周、幅2～5mm以上)		軽微なクラック(幅2mm未満)		
		隙間・ズレ	全体が脱却		一部が脱却		わずかの隙間・ズレ		
		浸入水	噴き出ている状態		流れている状態		にじんでいる状態		
		木根侵入	内径の50%以上		内径の10～50%以上		内径の10%未満		
		タルミ	内径の3/4以上		内径の1/2～3/4		内径の1/2未満		
	足掛金具	腐食・劣化状況	欠落している		鉄筋が細くなっている		錆の発生		足掛本数 ※2
	インバート	インバート状況	インバートがない		部分的な欠損		—		
	全体	臭気	常に発生		使用ピーク中に発生		季節的に発生		
	流下状況	油脂・モルタル・土砂等の堆積状況	管径の1/3以上の付着		管径の1/3～1/10の付着		管径の1/10未満の付着		

※1: 表面pHは、硫化水素によるコンクリート腐食の可能性がある場合(圧送管吐出先部、伏越しマンホール等)で測定する(腐食ランクが判定される箇所では表面pHを測定する。判定されない箇所では測定不要)

※2: 足掛本数は、点検・調査実施時に残存している本数とする。

様式1-7

マンホール本体の調査 異常箇所一覧表

[illegible]

マンホール蓋点検結果一覧表

8

様式1-9

マンホール蓋点検記録表

マン ホー ル ふ た	幹線名等		図面番号		マンホール 番号		点検日				
	製造メーカー		製造年		年		ふたタイプ				
	ふた呼び径		200、300、600、900、その他()		耐荷重種別		標準、除雪、その他()				
	道路種別		国道、県道、市道、私道		占有位置		車道、歩道、その他()				
	上部壁～ GL間距離		cm		調整リング		cm× 枚、 cm× 枚、				
	マンホール 種別		マンホール 深		m						
	点検・調査項目		点検・調査内容			点検・調査結果					
						A	B	C	D	E	
	設置基準 適合性	耐荷重種別		歩・車道別による設置状況						—	
		浮上・飛散防止機能		浮上・飛散防止の機能				—	—	—	
		転落・落下防止機能		転落・落下防止の機能				—	—	—	
	機能支障	浮上・飛散防止機能		機能の作動				—	—	—	
		不法投棄・侵入防止機能		専用工具以外の利用による開閉				—	—	—	
		転落・落下防止機能		機能の作動				—	—	—	
		開閉機能		機能の作動						—	
	性能劣化	外観		クラック・欠け				—	—	—	
		がたつき		車両通過音・足踏みによる動き				—	—	—	
		表面摩耗	表面摩耗の状態				—				
			① mm	② mm							
③ mm			④ mm								
⑤ mm			平均 mm								
腐食		錆出し表示の状態			—		—				
機能の作動		浮上防止		作動状況		—	—	—			
		錠構造 不法投棄				—	—	—			
		転落防止				—	—	—			
ふた・受け枠間の段差		ふた・受け枠間の段差				—	—	—			
高さ調整部の損傷		欠け・充填不良・クラック				—	—	—			
集計欄											
周辺舗装	周辺舗装の損傷							—			
	ふた・周辺舗装の段差					—	—	—			
集計欄						—	—	—			
(備考)					表面摩耗計測点 ・中心1箇所と4方向の合計5箇所						

様式1-10

マンホール蓋 異常箇所一覧表

[illegible]

様式2-1

管口テレビカメラ点検工 点検結果一覧表

※1:マンホール蓋の点検結果一覧表は、別紙(様式1-8)により作成する。

※2:マンホール本体の点検結果一覧表は、別紙(様式1-5)により作成する。

異常なし: ○

異常あり: A, B, Cランクと()内に異常内容を記入

該当なし：－

[illegible]

管口テレビカメラ点検工 点検記録表

				コードNo.		
点検日	年 月 日 天候:			記録者		
処理区域	図面番号					
幹線名等	人孔番号					
道路種別	国道・県道・市道・私道・他()		占有位置	車道・歩道・他()		
舗装種別	AS・CO・未舗装・他()					
マンホール蓋の点検記録表は、別紙(様式1-9)により作成する。						
マンホール本体の調査記録表は、別紙(様式1-6)により作成する。						
管渠内部の状況						
会合番号		下流	1	2	3	4
人孔番号						
管種(HP・VU・PRP等)						
管径(mm)						
流下及び堆積状況	滞水・滞流	良・A・B・C ()	良・A・B・C ()	良・A・B・C ()	良・A・B・C ()	良・A・B・C ()
	土砂・竹木・モルタル・不法投棄物等	良・A・B・C ()	良・A・B・C ()	良・A・B・C ()	良・A・B・C ()	良・A・B・C ()
	タルミ・蛇行・閉塞	良・A・B・C ()	良・A・B・C ()	良・A・B・C ()	良・A・B・C ()	良・A・B・C ()
	油脂類の付着	良・A・B・C ()	良・A・B・C ()	良・A・B・C ()	良・A・B・C ()	良・A・B・C ()
	侵入根	良・A・B・C ()	良・A・B・C ()	良・A・B・C ()	良・A・B・C ()	良・A・B・C ()
損傷の状況	破損・クラック・腐食・摩耗	良・A・B・C ()	良・A・B・C ()	良・A・B・C ()	良・A・B・C ()	良・A・B・C ()
	継手のズレ・段差	良・A・B・C ()	良・A・B・C ()	良・A・B・C ()	良・A・B・C ()	良・A・B・C ()
	偏平・変形(塩ビ管)	良・A・B・C ()	良・A・B・C ()	良・A・B・C ()	良・A・B・C ()	良・A・B・C ()
	管口不良	良・A・B・C ()	良・A・B・C ()	良・A・B・C ()	良・A・B・C ()	良・A・B・C ()
	副管の閉塞・破損	良・A・B・C ()	良・A・B・C ()	良・A・B・C ()	良・A・B・C ()	良・A・B・C ()
	取付管の突き出し	良・A・B・C ()	良・A・B・C ()	良・A・B・C ()	良・A・B・C ()	良・A・B・C ()
	他企業埋設物の管渠内露出	良・A・B・C ()	良・A・B・C ()	良・A・B・C ()	良・A・B・C ()	良・A・B・C ()
	地下水等の浸入	良・A・B・C ()	良・A・B・C ()	良・A・B・C ()	良・A・B・C ()	良・A・B・C ()
その他	悪質下水の流入	良・A・B・C ()	良・A・B・C ()	良・A・B・C ()	良・A・B・C ()	良・A・B・C ()
	その他	良・A・B・C ()	良・A・B・C ()	良・A・B・C ()	良・A・B・C ()	良・A・B・C ()
備考						

※異常がある場合は、A・B・Cランクと()内に異常内容を記入すること。

様式2-3

管口テレビカメラ点検工 異常箇所一覧表

※1:マンホール蓋の異常箇所一覧表は、別紙(様式1-10)により作成する。

※2:マンホール本体の異常箇所一覧表は、別紙(様式1-7)により作成する。

異常なし: ○

異常あり: A, B, Cランクと()内に異常内容を記入

該当なし：－

[illegible]

様式3-1

巡視工 点検結果一覧表

※:マンホール蓋の点検結果一覧表は、別紙(様式1-8)により作成する。

点検日	地 域	路線延長 (m)	スパン数 (スパン)	人孔数 (基)	備考
合 計					

様式3-2

巡視工 点検数量一覧表（点検日ごとに作成）

点検日 年 月 日

※適宜行を追加すること

メッシュ番号		メッシュ番号		メッシュ番号		メッシュ番号		メッシュ番号		メッシュ番号	
マンホールNo	点間距離	マンホールNo	点間距離	マンホールNo	点間距離	マンホールNo	点間距離	マンホールNo	点間距離	マンホールNo	点間距離
スパン数		スパン数		スパン数		スパン数		スパン数		スパン数	
路線延長		路線延長		路線延長		路線延長		路線延長		路線延長	
人孔数		人孔数		人孔数		人孔数		人孔数		人孔数	

メッシュ番号		メッシュ番号		メッシュ番号		メッシュ番号		メッシュ番号		メッシュ番号	
マンホールNo	点間距離	マンホールNo	点間距離	マンホールNo	点間距離	マンホールNo	点間距離	マンホールNo	点間距離	マンホールNo	点間距離
スパン数		スパン数		スパン数		スパン数		スパン数		スパン数	
路線延長		路線延長		路線延長		路線延長		路線延長		路線延長	
人孔数		人孔数		人孔数		人孔数		人孔数		人孔数	
日集計								スパン数		スパン	
								路線延長		m	
								人孔数		基	

様式3-3

巡視工 点検記録表

点検日	○ 年 ○ 月 ○ 日		天候：晴	記録者： ○ ○ ○ ○	点検者： ○ ○ ○ ○	
人孔番号	地 域	台帳メッシュ番号		人孔番号		
	豊科	○○-○○		○○○-○(○)		
仕 様	区 分	☒ 汚水 ☐ 雨水 ☐ 合流				
	種 類	☒ T-25 ☐ T-20 ☐ T-14 ☐ T-8 ☐ 不明				
	製造メーカー・製造年	メーカー	○○○○		製造年	1999 年
	蓋 径	300	☒ 600	900	()	
	人孔種類	0号	☒ 1号	2号 3号 塩ビ レジン	()	
	転落防止梯子	有 ☒ 無				
設置場所	舗装種別	☒ アスファルト	歩車道の別		☒ 車道	歩道
		コンクリート			その他()	
		平版ブロック	大型車交通量		多 中 ☒ 少	
		砂利道				
		その他()				

点 検 結 果

項 目		判定ランク				説 明
1	地表面(管上全体)	A	B	C	☒ 良	
2	人孔蓋枠	マンホール蓋の点検記録表は、別紙(様式1-9)により作成する。				
3	調整コンクリート	A	B	C	☒ 良	
4	側壁(斜壁)	A	B	C	☒ 良	
5	直 壁	A	B	C	☒ 良	
6	インバート	A	B	C	☒ 良	
7	管 口	A	B	C	☒ 良	
8	足 掛	A	B	C	☒ 良	
9	副 管 ☒ 無	A	B	C	良	
10	流下・堆積状況	A	B	C	☒ 良	
11	その他					

様式3-4

巡視工 異常箇所一覧表

※1:異常の内容により次の項目に分類して、項目ごとに別表とする。

(Ⅰ:地表面関係、Ⅱ:マンホール躯体関係、Ⅲ:インパ-ト関係、Ⅳ:流下・堆積関係、Ⅴ:マンホール不明、Ⅵ:その他)

※2:マンホール蓋の異常箇所一覧表は、別紙(様式1-10)により作成する。

図示 写真 番号	地域	メッシュ 番号	マンホ- ル 番号	異常 ランク	異常内容	考察	処置等